

黙示録14章18節 「もう熟しているぶどう」

1A すでに遅いかもしれない介入

1B 乾いた実の収穫

2B すでに熟したぶどう

2A 忍耐深く待つ神

1B 時が満ちるアモリ人の咎

2B 義人口を救う神

3B ファラオへの忍耐

4B イエスの宣教

3A 公正に裁かれる方

1B 毒麦の生えた畑

2B 隠れたことを明らかにする方

3B 神の恵みにある厳しさと喜び

4A 忍耐と信仰

1B 遅い裁き

2B 遅れない裁き

本文

黙示録 14 章を開いてください。午後礼拝で、14 章を一節ずつ見ていきたいと思いますが、今朝は、18 節を中心に、主の忍耐について学んでいきたいと思います。18 節を読みます。「**すると、火をつかさどる権威を持つ別の御使いが祭壇から出て来て、鋭い鎌を持つ御使いに大声で呼びかけた。「あなたの鋭い鎌を送って、地のぶどうの房を刈り集めよ。ぶどうはすでに熟している。」**」

14 章は、14 節から 20 節までに、主が地上に戻ってこられる幻が預言されています。それを、収穫の姿として描かれています。一つは、麦などの収穫です。15 節に、「**あなたの鎌を送って、刈り取ってください。刈り入れの時が来ましたから。地の穀物は実っています。**」と御使いが叫んでいます。そしてここ 18 節では、ぶどうの房の刈り取りです。

1A すでに遅いかもしれない介入

1B 乾いた実の収穫

ここで、非常に興味深い共通したことを、御使いが叫んでいます。どちらも、収穫の時期がぎりぎりであり、これ以上、時間が経つと実がだめになってしまうということです。15 節の「**地の穀物は実っています**」というのは、直訳は、「**実は乾いた**」となっています。つまり、実って、実り過ぎて、水気を失い乾き始めた、ということです。

2B すでに熟したぶどう

そして次、18 節の「**ぶどうはすでに熟している**」という言葉です。ここは、「熟しすぎて、はちきれんばかりになっている」状態のぶどうです。ちょっとでも遅くなれば、実が台無しになるけれども、その時に、主がすみやかに来られて、収穫を行われるという意味合いになっています。

2A 忍耐深く待つ神

この姿について、主が預言者ハバククに言われた言葉を思い出します。「2:3 この幻は、定めの時について証言し、終わりについて告げ、偽ってはいない。もし遅くなっても、それを待て。必ず来る。遅れることはない。」必ず来るのです。遅くなっても、待てと言われます。そして、定められている時に来るので、遅れることはないと言われます。遅くなっても、遅れないのです。黙示録では、主が来られるのが、「**すぐに起こるべきこと**」(1:1)と書かれていますが、そのすぐとは、「時が来たら、速やかに行う」ということで、遅れすぎることはないという意味です。遅れているように見えても、実際に遅れることはありません。

なぜ、そのように主はされるのでしょうか？ペテロが第二の手紙で言っている通りですね、「3:9 主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。」主は、忍耐しておられるのです。人が悔い改めに進むことを願って、忍耐しておられるのです。

1B 時が満ちるアモリ人の咎

主が、アブラハムに、カナンの地にいる人々への裁きを前もって語られたことがありました。「創 15:15-16 あなた自身は、平安のうちに先祖のもとに行く。あなたは幸せな晩年を過ごして葬られる。そして、四代目の者たちがここに帰って来る。それは、アモリ人の咎が、その時まで満ちることがないからである。」

アブラハムの子イサクの子ヤコブが、家族を連れてエジプトに下ります。そして、そこから主が、モーセによってエジプトから連れ出されます。そして、ヨシュアたちが約束の地に入る時に、カナン地の先住民を追い払うように、主が命じられます。なぜならば、そこに咎が、主の前に満ちていたからです。偶像礼拝と忌まわしい行いをして、幼児が犠牲になっていました。その跡を発掘して、発見した考古学者は、つぶやきました。「なぜ、神はもっと早く、彼らを裁かなかっただろうか。」しばしば、ヨシュア記にある、主の聖絶の命令について、神は厳しい方だ、あるいは残酷な神だとそしることばがあります。それは、現実を知りません。現実は、もし滅ぼされなかったら、彼ら自身の中で、幼子を忌まわしい行いの中で次々と殺していったのです。

しかし、アブラハム、イサク、ヤコブによって、主がおられることの証しが、カナン地に住む人々

にはありました。彼らには、悔い改める機会がありました。四代目まで、主は待っておられました。

2B 義人ロトを救う神

主は、ソドムとゴモラの町にも忍耐を示されましたね。アブラハムが、正しい人が十人いるかもしれないと訴えた時に、その十人のために町全体を赦すとまで言われました。しかし、十人さえ正しい人はいませんでした。ロトのところに、御使い二人が泊まりました。そこに男たちが集団で、その二人を凌辱しようと家に入り込もうとしました。それで、御使いは、ロトにこう教えました。「創 19:12-13 ほかにだれか、ここに身内の者がいますか。あなたの婿や、あなたの息子、娘、またこの町にいる身内の者をみな、この場所から連れ出しなさい。13 私たちは、この場所を滅ぼそうとしています。彼らの叫びが【主】の前に大きいので、【主】はこの町を滅ぼそうと、私たちを遣わされたのです。」

ロトは嫁にいった家族のところに伝えますが、悪い冗談のようにしか聞こえませんでした。それで、夜が明けるところ、御使いたちは、未婚の娘二人と妻といっしょに逃げなさいと言います。彼はためらっていました。すると、御使いたちは彼らの手をつかんだのです。そして、外に連れ出したのです。山に逃げなさいと二人はいいますが、ロトは、「山まで逃げることはできません。あそこの小さい町はどうですか。」と尋ねます。それさえも、御使いは聞き入れます。ロトと、娘二人がその町に到着しました。妻は振り返ってしまいました。ロトが町に到着したら、すぐさま天から硫黄と火が降ってきました。妻は、塩の柱となりました。

主の忍耐です。主が、悪者であっても、死なないで、ご自身に立ち返って生きるようにしたいと、強く願われています。それで、一人でも多く悔い改めて、待って、待って、救われる人が出て行った時、それですみやかに災いを下されたのです。

3B ファラオへの忍耐

主は、初めから心を頑なにして、悔い改めないことをご存知の者でさえ、寛容でられます。エジプトに災いが下るとき、主が興味深いことを、モーセを通して、語られています。「出 9:15-16 実に今でも、わたしが手を伸ばし、あなたとあなたの民を疫病で打つなら、あなたは地から消し去られる。16 しかし、このことのために、わたしはあなたを立てておいた。わたしの力をあなたに示すため、そうして、わたしの名を全地に知らしめるためである。」

十の災いをくだすなんて、主は厳しい方だと思われるかもしれませんが、いいえ、実は十の災いは、それだけ主が、ファラオがご自分が神であることを認めるように、少しずつしか災いをくだしておられなかったのです。十は、ファラオを苦しめるための回数ではなく、ファラオが悔い改める機会が与えられた数なのです。「ロマ 9:22 それでいて、もし神が、御怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられたのに、滅ぼされるはずの怒りの器を、豊かな寛容をもって耐え忍ばれたとすれ

ば、どうですか。」ファラオが、御怒りを示して力を現したのですが、豊かな寛容をもって耐え忍ばれていたのです。

私は、これがすごいと思っています。イスカリオテのユダも、彼が滅ぼされることは分かっておられました。けれども、最後の夜、過越の食事の時まで、ずっと彼が自分のしている悪に気づいてくれるよう、示していかれました。私なら、最後まで悔い改めないなら、どうして忍耐する必要あるのか？と思います。けれども、主は、忍耐され、寛容を示されるのです。

4B イエスの宣教

イエスは、ご自身が父なる神にあって忍耐されていることを、一つの喩えをもって語られました。三年間も実を結ばないいちじくの木について、話されています。「ルカ 13:6-9 イエスはこのようなたとえを話された。「ある人が、ぶどう園にいちじくの木を植えておいた。そして、実を探しに来たが、見つからなかった。7 そこで、ぶどう園の番人に言った。『見なさい。三年間、このいちじくの木に実を探しに来ているが、見つからない。だから、切り倒してしまいなさい。何のために土地まで無駄にしているのか。』8 番人は答えた。『ご主人様、どうか、今年もう一年そのままにしておいてください。木の周りを掘って、肥料をやってみます。9 それで来年、実を結べばよいでしょう。それでもだめなら、切り倒してください。』」

主は、ご自身のお働きが、もう三年になっていました。けれども、イスラエルの民が、それにふさわしい実を結んでいません。もう切り倒さないといけないのです。けれども、今年またもう一年、そのままにしてください。木の周りを掘って、肥料をやってみますと言われていました。たとえ、実が結ばれなくても、それでも待ってくださいと懇願しているのは、まさに神の忍耐を示しています。しかし、神の忍耐は、罪を容認しているわけではありません。来年がだめなら、それで切り倒してくださいと言っていますね。主は三年ぐらいの宣教の働きで、ユダヤ人指導者は受け入れなかったので、紀元 70 年、ローマによって神殿が破壊されたのです。

3A 公正に裁かれる方

このように、主は人々が悔い改めるのを待つ、忍耐する方であることが分かりました。けれども、その恵みは同時に、私たちにとって試しの期間でもあります。それは、「**ぶどうはすでに熟している。**」ということは、だれが見ても、裁かれるべきであることが明らかになっているということです。主が確かに、公正に裁いておられることが、時を経て明らかにされるのです。そのために時間、ということも言えるのです。

1B 毒麦の生えた畑

毒麦の喩えを思い出してください。畑に、敵が来て毒麦の種を蒔きました。それで、しもべたちが、「毒麦を抜き集めましょうか。」と提案しました。けれども、主人が答えます。「マタ 13:29-30 しかし、

主人は言った。『いや。毒麦を抜き集めるうちに麦も一緒に抜き取るかもしれない。だから、収穫まで両方とも育つままにしておきなさい。収穫の時に、私は刈る者たちに、まず毒麦を集めて焼くために束にし、麦のほうは集めて私の倉に納めなさい、と言おう。』』

主人は、良い麦を毒麦といっしょに抜き取ってしまうことを心配しました。それで、育つままにします。ですから、言い換えれば、はっきりと良い麦か、毒麦か、その実によってわかるまで待ち、それから収穫の時に良い麦は倉に、毒麦は火で焼きます。これは、主が来られて御国が建てられる時に、良い麦は御国に招かれて、悪い麦は燃える火に投げ込まれていることを示しているのです。

2B 隠れたことを明らかにする方

このようにして、主が来られるのが遅れているように見えるのは、主が悔い改めを待って、忍耐しておられるだけでなく、裁かれる時にそれが公正であることを明らかにするためのものであることも教えているのです。私たちは、悪が行われていることが分かっている時に、どうしてすぐに裁いてくださらないのかと悩むことがあります。けれども、主は隠れているものも、明らかにされます。

教会において、難しいことが起こる時があります。長老、すなわち教会の指導者が罪を犯した時などは、その例です。パウロは、若い指導者であるテモテに対して、どのように対処すべきかを第一の手紙の中で教えています。「先入観なしに守り、何事もえきひいきせずに行いなさい。」と言っています。けれども、テモテは気が弱く、胃の病気を患っていたようです。それで、少量のぶどう酒を飲みなさいと指導しています。

それで、こう励ましているのです。「5:24-25 ある人たちの罪は、さばきを受ける前から明らかですが、ほかの人たちの罪は後で明らかになります。25 同じように、良い行いも明らかですが、そうでない場合でも、隠れたままではあることはありません。」明らかかな罪もあるけれども、そうでない、隠れた罪もあるのです。けれども、いつまでも隠れたままではあることはないのだと励ましています。良い行いも、隠れたままではあることはありません。つまり、今、毒麦の喩えで見た通りです。主が、実を明らかにされて、それから収穫して、良い実と悪い実をえり分けるのです。

3B 神の恵みにある厳しさと喜び

ですから、私たちが今、神の恵みの時にいることを知らないといけません。恵みの時にいるのは、ある意味で、厳しいのです。主が忍耐しておられるので、裁きがまだ下っていません。そこで、多くの人が、それは自分のしていることを神は見えておられないと思い込みます。あるいは、自分のしていることは、神は容認しておられると偽ります。悪いことをしていても、それを是認しているとさえ思うのです。忍耐を、自分がやりたいことができる許可だと思ふのです。しかし、主が裁かれる時に、その裁きが正しいことが明らかにされます。自分のしたことの報いを受けます。

けれども、恵みの時に、私たちは主を恐れかしこみつつ、喜びをもって実を結ばせることができます。主が恵みを与えておられるので、その賜物を用いて、主にお仕えすることができます。そして、そこから出てくる実にしたがって、主はご自身が戻って来られたら報われるのです。「マタイ 25:21 よくやった。良い忠実なしもべだ。おまえはわずかな物に忠実だったから、多くの物を任せよう。主人の喜びをともに喜んでくれ。」

4A 忍耐と信仰

改めて、先に引用した、預言者ハバククに対する主のことばを読みます。「2:3 この幻は、定めの時について証言し、終わりについて告げ、偽ってはいない。もし遅くなっても、それを待て。必ず来る。遅れることはない。」遅くなりますが、遅れることはないのです。

1B 遅い裁き

実は、主の忍耐は、私たちにも忍耐が試されます。信じていくことにおいて、忍耐が必要です。主が必ず正しく裁かれることに対して、忍耐を働かせます。さもなければ、主が裁かれるのに、自分の手で裁こうとしたり、自分の義を立てようとしてしまいます。しかし、義は神から来るのです。忍耐強く待つのです。

2B 遅れない裁き

しかし、遅れることは決してありません。遅れているように見えても、そうではないのです。主が行われる時は、速やかになさります。獅子が、獲物を狙うためには、長い時間をかけますが、一度、獲物のとびかかる時は、一気にいきます。そのようなことを、主はご自身が戻られる時に行われるのです。